



私たち一人ひとりの行動が、  
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県



神奈川県

平成 30 年 12 月 25 日  
参考資料  
(県政・藤沢記者クラブ同時送付)

## 神奈川県 ME-BYO リビングラボ実証事業を実施します！

「仕事付き高齢者住宅」による健康寿命延伸の可能性を検証

県は、社会福祉法人伸こう福祉会(※1)から県民の未病改善を促す実証事業の提案を受け、「神奈川県 ME-BYO リビングラボ(※2)」で採択しました。

今回の事業では、介護付有料老人ホームにお住まいの高齢者の方を対象に、無理なく担える「仕事」ができる環境を整え、これに参加することで達成される「仕事イキイキ度」を評価し、「仕事付き高齢者住宅」の有用性について検証します。

なお、本事業は、経済産業省の「平成 30 年度健康寿命延伸産業創出推進事業(地域の実情に応じたビジネスモデル確立支援事業)」に採択された「仕事でイキイキ高齢者健康寿命延伸事業」の一環として県、東海大学、関東学院大学など様々な主体が参画して行う産学公連携事業です。

### 1 実証事業の概要

- (1) 実証事業者: 社会福祉法人伸こう福祉会(横浜市栄区、研究実施者)、東海大学健康学部(平塚市、研究責任者)・医学部(伊勢原市、研究実施者)、関東学院大学看護学部(横浜市金沢区、研究実施者)
- (2) 事業協力者: 東京大学大学院医学系研究科(東京都文京区、測定方法の指導・助言)等
- (3) テーマ: 収益が得られかつ機能訓練効果のある「仕事」ができる環境を整え、「社会参加」を通じた体と心の健康、さらには人としての生きがいなど、多面的に健康度を捉え、「仕事付き高齢者住宅」による健康寿命延伸の可能性を検証する。
- (4) 実施場所: 社会福祉法人伸こう福祉会 クロスハート湘南台・藤沢、クロスハート石名坂・藤沢、クロスハート湘南台二番館(藤沢市内の3施設)
- (5) 対象者: 年齢 70 歳以上 99 歳以下の施設入居者で、介護度が自立・要支援1から要介護3の方(男女不問)、予定参加者数 30 名
- (6) 実施期間(予定): 平成 30 年 12 月から平成 31 年2月まで
- (7) 事業内容

参加者を、通常の日常生活に加えて仕事をするグループと特段仕事をしないグループの2群に分けて、健康度の測定値及び変化の差異により比較評価する。

#### 【仕事の内容】

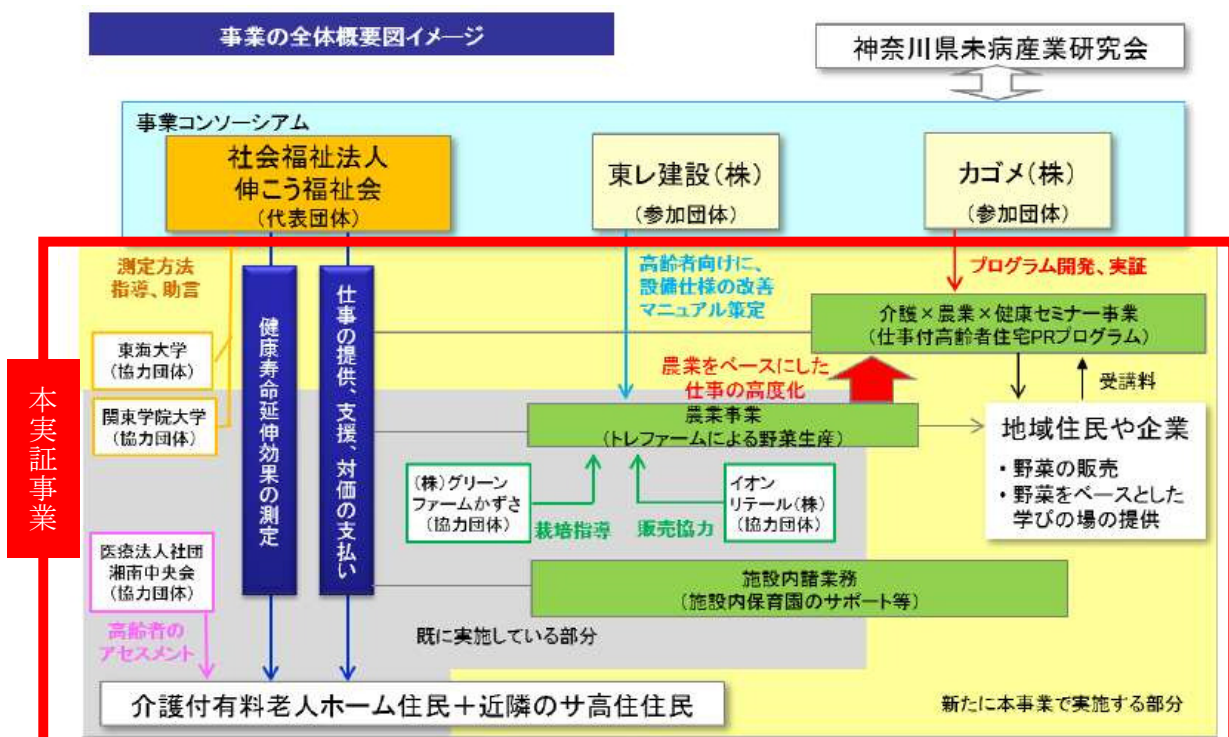
- ① 農業事業(野菜の生産・販売等)
- ② セミナー事業
- ③ 施設内諸業務への参加(保育補助等)
- ④ 特技・趣味などを生かした仕事

(例) 農業事業:トレファーム®(※3)による野菜生産の様子(写真:伸こう福祉会提供)



測定項目	内容
コミュニケーション (開始時、中間時及び終了時)	「施設及び在宅における要介護高齢者の Type II コミュニケーションスケール(※4)」でコミュニケーションの質・量を評価。
元気度 (開始時、中間時及び終了時)	音声感情認識ツール「MIMOSYS®(※5)」で「元気圧(現在の心の状態)」と「心の活動量(長期的な心の状態)」を評価。
QOL (quality of life) 等 (開始時、中間時及び終了時)	POMS (Profile of Mood States: 科学的で信頼性・妥当性を持つ気分・感情関連の評価尺度) 等で QOL、認知力、計算・記憶力を評価。
活動能力 (開始時、中間時及び終了時)	活動量計で1日当たりの歩数と6分間の歩数を計測。

## 2 仕事でイキイキ高齢者健康寿命延伸事業の全体イメージ(測定の対象は赤枠)



(※1)「社会福祉法人伸こう福祉会」について

【本部事務所】〒232-0011 神奈川県横浜市南区日枝町1-5 クロスハート南・横浜4・5

【代表者】理事長 足立 聖子

【電話】045-260-0568

【URL】<http://www.shinkoufukushikai.com/>

【事業内容】特別養護老人ホーム・特定施設入居者生活介護・訪問介護・通所介護・短期入所生活介護・認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護・訪問看護・在宅介護支援・認可保育所・認定保育所・地域子育て支援拠点・一時預かり事業・施設内保育所・障がい者共同生活援助・障がい者就労支援

(※2)神奈川 ME-BYO リビングラボとは、県民が安心して未病改善に取り組むとともに、未病産業の持続的発展を促すため、県が市町村やCHO構想(健康経営)を実践する企業等と連携して、県民参加の実証フィールドを創出し、未病関連商品・サービスの検証・評価を行う仕組み

(※3)トレファーム®とは、高床式のベッドで、砂を培地とし液肥で野菜を栽培する農業施設

(※4)「施設及び在宅における要介護高齢者の Type II コミュニケーションスケール」…介護の現場で使われるコミュニケーションを業務的コミュニケーション(タイプ I)と日常的コミュニケーション(タイプ II)に分類する尺度。介護される側として日常生活の中で感じられる様々な感情や言葉からイキイキとした生活シーンを評価

(※5)「MIMOSYS®」…音声を収集・解析することで、心の状態や変化を認識し、「元気度」(「元気圧」と「心の活動量」)を数値化して示す技術

## 問合せ先

---

神奈川県政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室

次世代社会システム担当課長 市川 電話 045-210-2710

次世代社会システムグループ 齊藤 電話 045-285-0778